

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公表番号】特表2007-512867(P2007-512867A)

【公表日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2006-539964(P2006-539964)

【国際特許分類】

A 4 4 B 18/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/56 (2006.01)

【F I】

A 4 4 B 18/00

B 3 2 B 27/32 1 0 3

A 4 1 B 13/02 H

A 6 1 F 13/18 3 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固定用構成要素を有する密着フィルムファスナシステムであって、

内側面と外側密着面とを有する実質的に伸張しない密着層を含み、前記密着層がポリオレフィン共重合体を含み、前記ポリオレフィン共重合体が、エチレンと $C_3 \sim C_{18}$ -オレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたエチレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも20重量%有する共重合体、プロピレンと C_2 から C_{18} -オレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたプロピレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも5重量%有する共重合体、および前記エチレン系共重合体のブレンド、前記プロピレン系共重合体のブレンド、または1種もしくは複数の前記エチレン系共重合体と1種もしくは複数の前記プロピレン系共重合体のブレンドからなる群から選択されるファスナシステム。

【請求項2】

前記エチレン系共重合体が前記モノマーを20~50重量%有する、請求項1に記載のファスナシステム。

【請求項3】

前記エチレン系共重合体が 0.89 g/cm^3 以下の密度を有する、請求項1に記載のファスナシステム。

【請求項4】

前記エチレン系共重合体が、190において 100 g/10分 以下のメルトインデックスを有する、請求項1に記載のファスナシステム。

【請求項5】

前記エチレン系共重合体の前記-オレフィンモノマーがオクテンを含む、請求項1に記載のファスナシステム。

【請求項 6】

前記プロピレン系共重合体が前記モノマーを 5 ~ 30 重量% 有する、請求項 1 に記載のファスナシステム。

【請求項 7】

前記プロピレン系共重合体の前記 - オレフィンモノマーがエチレンを含む、請求項 1 に記載のファスナシステム。

【請求項 8】

前記ブレンドが、 0.89 g/cm^3 以下の計算密度を有する、請求項 1 に記載のファスナシステム。

【請求項 9】

前記固定用構成要素が、第 1 および第 2 の対向面を有するキャリア層をさらに含み、前記第 1 の面が前記密着層の前記内側面に結合されて密着フィルム積層構造体を形成した、請求項 1 に記載のファスナシステム。

【請求項 10】

前記キャリア層が、ポリオレフィン、エチレンと $C_3 \sim C_{18}$ オレフィンとの共重合体、ポリエステル、ポリアミド、ポリスルホン、アクリルポリマー、ポリスチレン、ポリウレタン、ポリカーボネート、ハロゲン化ポリマー、セルロース化合物、ポリアクリロニトリル、エチレン酢酸ビニル、およびエチレン/メタクリル酸のナトリウム塩または亜鉛塩に基づくアイオノマーからなる群から選択される熱可塑性フィルムを含む、請求項 9 に記載のファスナシステム。

【請求項 11】

前記ポリオレフィンがポリエチレン、ポリプロピレンまたはポリブチレンである、請求項 10 に記載のファスナシステム。

【請求項 12】

前記ポリアミドがナイロンである、請求項 10 に記載のファスナシステム。

【請求項 13】

前記アクリルポリマーが、ポリエチレンメチルアクリル酸、ポリエチレン *n* - ブチルアクリレート、ポリエチレンエチルアクリレートまたはポリエチレンメチルアクリレートである、請求項 10 に記載のファスナシステム。

【請求項 14】

前記ハロゲン化ポリマーがポリ塩化ビニルまたはポリ塩化ビニリデンである、請求項 10 に記載のファスナシステム。

【請求項 15】

前記密着層が、その伸張されていない最初の形状から 25% 以下伸張する、請求項 1 または 9 に記載のファスナシステム。

【請求項 16】

前記キャリア層がその最初の形状から実質的に伸張しない、請求項 9 に記載のファスナシステム。

【請求項 17】

前記密着層が、前記ポリオレフィン共重合体の自立単層を含む、請求項 1 に記載のファスナシステム。

【請求項 18】

前記密着層の前記内側面も密着性を示す、請求項 1 に記載のファスナシステム。

【請求項 19】

標的面、および前記キャリア層の前記第 2 の面と前記標的面との間の結合をさらに含む、請求項 9 に記載のファスナシステムであって、前記結合が、前記第 2 の面または前記標的面上にコーティングされたホットメルト接着剤、前記第 2 の面または前記標的面上にコーティングされた感圧接着剤、再閉可能な面ファスナ、再閉可能なキノコ形ファスナ、超音波溶接、機械的結合、熱結合からなる群から選択される、ファスナシステム。

【請求項 20】

パッケージ、封筒、テープまたは使い捨て繊維製品に導入された、請求項 1、9 または 17 に記載のファスナシステム。

【請求項 2 1】

前記使い捨て繊維製品が使い捨ておむつであり、前記使い捨ておむつが第 1 および第 2 の腰部を有し、前記ファスナシステムが、前記おむつが前記使用可能な位置に配置された場合に前記第 1 の腰部と前記第 2 の腰部とを接合する耳、タブまたはテープを含む、請求項 2 0 に記載のファスナシステム。

【請求項 2 2】

前記ファスナシステムが前記腰部の少なくとも一方に結合されているか、または前記腰部の少なくとも一方の一部として一体に形成された、請求項 2 1 に記載のファスナシステム。

【請求項 2 3】

前記使い捨て繊維製品が女性用ナプキンであり、前記女性用ナプキンが、前記吸収性基材から横方向外側へ反対方向に延びる一対の羽を有し、前記女性用ナプキンが前記使用可能な位置に配置された場合に前記固定用構成要素が前記羽を接合する、請求項 2 0 に記載のファスナシステム。

【請求項 2 4】

前記ファスナシステムが前記羽の少なくとも一方に結合されているか、または前記羽の少なくとも一方の一部として一体に形成された、請求項 2 3 に記載のファスナシステム。

【請求項 2 5】

前記使い捨て繊維製品が外科用ドレープ、病院用ガウン、また病院用パッドである、請求項 2 0 に記載のファスナシステム。

【請求項 2 6】

前記パッケージが箱、軟包装材、またはブリスター包装である、請求項 2 0 に記載のファスナシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 3】

【表 9】

表 6 B

即時連続剥離	Affinity EG 8200	Affinity EG 8150	Versify 2400	Versify 2200
1 回目の即時剥離 g/cm (グラム/ インチ)	201.5 (512)	103.5 (263)	76.3 (194)	5.9 (15)
5 試料の標準偏差 g/cm (グラム/ インチ)	15.3 (39)	14.9 (38)	16.5 (42)	1.9 (5)
3 回目の即時剥離 g/cm (グラム/ インチ)	44.4 (113)	76.3 (194)	83.8 (213)	5.5 (14)
5 試料の標準偏差 g/cm (グラム/ インチ)	9 (23)	3.5 (9)	3.5 (9)	1.5 (4)
5 回目の即時剥離 g/cm (グラム/ インチ)	17.7 (45)	20.4 (52)	74.8 (190)	
5 試料の標準偏差 g/cm (グラム/ インチ)	5.9 (15)	8.2 (21)	5.1 (13)	

本発明の態様は、以下の通りである：

1. 固定用構成要素を有する密着フィルムファスナシステムであって、

内側面と外側密着面とを有する実質的に伸張しない密着層を含み、前記密着層がポリオレフィン共重合体を含み、前記ポリオレフィン共重合体が、エチレンと $C_3 \sim C_{18}$ -オレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたエチレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも20重量%有する共重合体、プロピレンと C_2 から C_{18} -オレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたプロピレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも5重量%有する共重合体、および前記エチレン系共重合体のブレンド、前記プロピレン系共重合体のブレンド、または1種もしくは複数の前記エチレン系共重合体と1種もしくは複数の前記プロピレン系共重合体のブレンドからなる群から選択されるファスナシステム。

2. 前記エチレン系共重合体が前記モノマーを20~50重量%有する、上記1に記載のファスナシステム。

3. 前記エチレン系共重合体が前記モノマーを25~50重量%有する、上記1に記載のファスナシステム。

4. 前記エチレン系共重合体が前記モノマーを30~50重量%有する、上記1に記載のファスナシステム。

5. 前記エチレン系共重合体が 0.89 g/cm^3 以下の密度を有する、上記1に記載のファスナシステム。

6. 前記エチレン系共重合体が $0.89 \text{ g/cm}^3 \sim 0.85 \text{ g/cm}^3$ の密度を有する、上記1に記載のファスナシステム。

7. 前記エチレン系共重合体が $0.88 \text{ g/cm}^3 \sim 0.85 \text{ g/cm}^3$ の密度を有する、上記1に記載のファスナシステム。

8. 前記エチレン系共重合体が $0.875 \text{ g/cm}^3 \sim 0.85 \text{ g/cm}^3$ の密度を有する、上記1に記載のファスナシステム。

9. 前記エチレン系共重合体が、190において 100 g/10分 以下のメルトインデックスを有する、上記1に記載のファスナシステム。

10. 前記エチレン系共重合体が、190 において50 g / 10分以下のメルトインデックスを有する、上記1に記載のファスナシステム。
11. 前記エチレン系共重合体の前記 - オレフィンモノマーがオクテンを含む、上記1に記載のファスナシステム。
12. 前記プロピレン系共重合体が前記モノマーを5 ~ 30重量%有する、上記1に記載のファスナシステム。
13. 前記プロピレン系共重合体が前記モノマーを5 ~ 15重量%有する、上記1に記載のファスナシステム。
14. 前記プロピレン系共重合体が、230 において100 g / 10分以下のメルトインデックスを有する、上記1に記載のファスナシステム。
15. 前記プロピレン系共重合体が、230 において50 g / 10分以下のメルトインデックスを有する、上記1に記載のファスナシステム。
16. 前記プロピレン系共重合体の前記 - オレフィンモノマーがエチレンを含む、上記1に記載のファスナシステム。
17. 前記ブレンドが、0.89 g / cm³以下の計算密度を有する、上記1に記載のファスナシステム。
18. 前記ブレンドが、0.89 g / cm³ ~ 0.85 g / cm³の計算密度を有する、上記1に記載のファスナシステム。
19. 前記ブレンドが、0.88 g / cm³ ~ 0.85 g / cm³の計算密度を有する、上記1に記載のファスナシステム。
20. 前記ブレンドが、0.875 g / cm³ ~ 0.85 g / cm³の計算密度を有する、上記1に記載のファスナシステム。
21. 前記固定用構成要素が、第1および第2の対向面を有するキャリア層をさらに含み、前記第1の面が前記密着層の前記内側面に結合されて密着フィルム積層構造体を形成した、上記1に記載のファスナシステム。
22. 前記キャリア層が不織布を含む、上記21に記載のファスナシステム。
23. 前記キャリア層が、ポリオレフィン、エチレンとC₃ ~ C₁₈オレフィンとの共重合体、ポリエステル、ポリアミド、ポリスルホン、アクリルポリマー、ポリスチレン、ポリウレタン、ポリカーボネート、ハロゲン化ポリマー、セルロース化合物、ポリアクリロニトリル、エチレン酢酸ビニル、およびエチレン/メタクリル酸のナトリウム塩または亜鉛塩に基づくアイオノマーからなる群から選択される熱可塑性フィルムを含む、上記21に記載のファスナシステム。
24. 前記ポリオレフィンがポリエチレン、ポリプロピレンまたはポリブチレンである、上記23に記載のファスナシステム。
25. 前記ポリアミドがナイロンである、上記23に記載のファスナシステム。
26. 前記アクリルポリマーが、ポリエチレンメチルアクリル酸、ポリエチレンn - ブチルアクリレート、ポリエチレンエチルアクリレートまたはポリエチレンメチルアクリレートである、上記23に記載のファスナシステム。
27. 前記ハロゲン化ポリマーがポリ塩化ビニルまたはポリ塩化ビニリデンである、上記23に記載のファスナシステム。
28. 前記密着層が、その伸張されていない最初の形状から25%以下伸張する、上記1に記載のファスナシステム。
29. 前記密着層が、その伸張されていない最初の形状から10%以下伸張する、上記1に記載のファスナシステム。
30. 前記密着フィルム積層構造体が、その伸張されていない最初の形状から25%以下伸張する、上記21に記載のファスナシステム。
31. 前記密着フィルム積層構造体が、その伸張されていない最初の形状から10%以下伸張する、上記21に記載のファスナシステム。
32. 前記キャリア層がその最初の形状から実質的に伸張しない、上記21に記載のファスナシステム。

- 33．前記キャリア層が、その最初の形状から25%以下伸張する、上記32に記載のファスナシステム。
- 34．前記キャリア層が、その最初の形状から10%以下伸張する、上記32に記載のファスナシステム。
- 35．前記密着層が、前記ポリオレフィン共重合体の自立単層を含む、上記1に記載のファスナシステム。
- 36．前記密着層の前記内側面も密着性を示す、上記1に記載のファスナシステム。
- 37．標的面、および前記キャリア層の前記第2の面と前記標的面の間の結合をさらに含む、上記21に記載のファスナシステム。
- 38．前記結合が、前記第2の面または前記標的面上にコーティングされたホットメルト接着剤を含む、上記37に記載のファスナシステム。
- 39．前記結合が、前記第2の面または前記標的面上にコーティングされた感圧接着剤を含む、上記37に記載のファスナシステム。
- 40．前記結合が再閉可能な面ファスナを含む、上記37に記載のファスナシステム。
- 41．前記結合が再閉可能なキノコ形ファスナを含む、上記37に記載のファスナシステム。
- 42．前記結合が超音波溶接を含む、上記37に記載のファスナシステム。
- 43．前記結合が機械的結合を含む、上記37に記載のファスナシステム。
- 44．前記結合が熱結合を含む、上記37に記載のファスナシステム。
- 45．上記1に記載の密着層が結合された基材を含むパッケージ、封筒、テープまたは使い捨て繊維製品。
- 46．上記21に記載の密着フィルム積層構造体が結合された基材を含むパッケージ、封筒、テープまたは使い捨て繊維製品。
- 47．上記35に記載の密着層が結合された基材を含むパッケージ、封筒、テープまたは使い捨て繊維製品。
- 48．第1および第2の対向面を有する実質的に伸張しないキャリア層と、
前記キャリア層の前記第1の面に結合されて密着フィルム積層構造体を形成した密着層とを含み、前記密着層がポリオレフィン共重合体を含み、前記ポリオレフィン共重合体が、エチレンと $C_3 \sim C_{18}$ -オレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたエチレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも20重量%有する共重合体、プロピレンと $C_2 \sim C_{18}$ -オレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたプロピレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも5重量%有する共重合体、および前記エチレン系共重合体のブレンド、前記プロピレン系共重合体のブレンド、または1種もしくは複数の前記エチレン系共重合体と1種もしくは複数の前記プロピレン系共重合体のブレンドからなる群から選択される積層構造体。
- 49．前記エチレン系共重合体が前記モノマーを20~50重量%有する、上記48に記載の積層構造体。
- 50．前記エチレン系共重合体が前記モノマーを25~50重量%有する、上記48に記載の積層構造体。
- 51．前記エチレン系共重合体が前記モノマーを30~50重量%有する、上記48に記載の積層構造体。
- 52．前記エチレン系共重合体が 0.89 g/cm^3 以下の密度を有する、上記48に記載の積層構造体。
- 53．前記エチレン系共重合体が $0.89 \text{ g/cm}^3 \sim 0.85 \text{ g/cm}^3$ の密度を有する、上記48に記載の積層構造体。
- 54．前記エチレン系共重合体が $0.88 \text{ g/cm}^3 \sim 0.85 \text{ g/cm}^3$ の密度を有する、上記48に記載の積層構造体。
- 55．前記エチレン系共重合体が $0.875 \text{ g/cm}^3 \sim 0.85 \text{ g/cm}^3$ の密度を有する、上記48に記載の積層構造体。

56. 前記エチレン系共重合体が、190 において100 g / 10分以下のメルトインデックスを有する、上記48に記載の積層構造体。
57. 前記エチレン系共重合体が、190 において50 g / 10分以下のメルトインデックスを有する、上記48に記載の積層構造体。
58. 前記エチレン系共重合体の前記 - オレフィンモノマーがオクテンを含む、上記48に記載の積層構造体。
59. 前記プロピレン系共重合体が前記モノマーを5 ~ 30重量%有する、上記48に記載の積層構造体。
60. 前記プロピレン系共重合体が前記モノマーを5 ~ 15重量%有する、上記48に記載の積層構造体。
61. 前記プロピレン系共重合体が、230 において100 g / 10分以下のメルトインデックスを有する、上記48に記載の積層構造体。
62. 前記プロピレン系共重合体が、230 において50 g / 10分以下のメルトインデックスを有する、上記48 1に記載の積層構造体。
63. 前記プロピレン系共重合体の前記 - オレフィンモノマーがエチレンを含む、上記48に記載の積層構造体。
64. 前記ブレンドが、0.89 g / cm³以下の計算密度を有する、上記48に記載の積層構造体。
65. 前記ブレンドが、0.89 g / cm³ ~ 0.85 g / cm³の計算密度を有する、上記48に記載の積層構造体。
66. 前記ブレンドが、0.88 g / cm³ ~ 0.85 g / cm³の計算密度を有する、上記48に記載の積層構造体。
67. 前記ブレンドが、0.875 g / cm³ ~ 0.85 g / cm³の計算密度を有する、上記48に記載の積層構造体。
68. 前記キャリア層が不織布を含む、上記48に記載の積層構造体。
69. 前記キャリア層が、ポリオレフィン、エチレンとC₃ ~ C₁₈オレフィンとの共重合体、ポリエステル、ポリアミド、ポリスルホン、アクリルポリマー、ポリスチレン、ポリウレタン、ポリカーボネート、ハロゲン化ポリマー、セルロース化合物、ポリアクリロニトリル、エチレン酢酸ビニル、およびエチレン/メタクリル酸のナトリウム塩または亜鉛塩に基づくアイオノマーからなる群から選択される熱可塑性フィルムを含む、上記48に記載の積層構造体。
70. 前記ポリオレフィンがポリエチレン、ポリプロピレンまたはポリブチレンである、上記69に記載の積層構造体。
71. 前記ポリアミドがナイロンである、上記69に記載の積層構造体。
72. 前記アクリルポリマーが、ポリエチレンメチルアクリル酸、ポリエチレンn - ブチルアクリレート、ポリエチレンエチルアクリレートまたはポリエチレンメチルアクリレートである、上記69に記載の積層構造体。
73. 前記ハロゲン化ポリマーがポリ塩化ビニルまたはポリ塩化ビニリデンである、上記69に記載の積層構造体。
74. 前記密着フィルム積層構造体が、その伸張されていない最初の形状から25%以下伸張する、上記48に記載の積層構造体。
75. 前記密着フィルム積層構造体が、その伸張されていない最初の形状から10%以下伸張する、上記48に記載の積層構造体。
76. 前記キャリア層が、その最初の形状から25%以下伸張する、上記48に記載の積層構造体。
77. 前記キャリア層が、その最初の形状から10%以下伸張する、上記48に記載の積層構造体。
78. 前記キャリア層が、複数の基材を含む多層構造体を含む、上記48に記載の積層構造体。
79. 1つまたは複数の前記基材が実質的に伸張しない、上記78に記載の積層構造体。

80. 標的面、および前記ベースキャリア層の前記第2の面と前記標的面の間の結合をさらに含む、上記48に記載の積層構造体。

81. 前記結合が、前記第2の面または前記標的面上にコーティングされたホットメルト接着剤を含む、上記80に記載の積層構造体。

82. 前記結合が、前記第2の面または前記標的面上にコーティングされた感圧接着剤を含む、上記80に記載の積層構造体。

83. 前記結合が再閉可能な面ファスナを含む、上記80に記載の積層構造体。

84. 前記結合が再閉可能なキノコ形ファスナを含む、上記80に記載の積層構造体。

85. 前記結合が超音波溶接を含む、上記80に記載の積層構造体。

86. 前記結合が機械的結合を含む、上記80に記載の積層構造体。

87. 前記結合が熱結合を含む、上記80に記載の積層構造体。

88. 前記キャリア層が柔軟な基材を含む、上記48に記載の積層構造体。

89. 上記48に記載の密着フィルム積層構造体が結合された基材を含むパッケージ、封筒、テープまたは使い捨て繊維製品。

90. 上記78に記載の密着フィルム積層構造体が結合された基材を含むパッケージ、封筒、テープまたは使い捨て繊維製品。

91. 積層構造体を製造する方法であって、

第1および第2の対向面を有する実質的に伸張しないキャリア層を用意するステップと

、
ポリオレフィン共重合体を含む密着層を用意するステップであって、前記ポリオレフィン共重合体が、エチレンと C_3 から C_{18} -オレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたエチレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも20重量%有する共重合体、プロピレンと C_2 から C_{18} -オレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたプロピレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも5重量%有する共重合体と、前記エチレン系共重合体のブレンド、前記プロピレン系共重合体のブレンド、または1種もしくは複数の前記エチレン系共重合体と1種もしくは複数の前記プロピレン系共重合体のブレンドとからなるグループから選択されるステップと、

前記キャリア層の前記第1の面と前記密着層とを結合して、密着フィルム積層構造体を形成するステップとを含む方法。

92. 前記エチレン系共重合体が前記モノマーを20~50重量%有する、上記91に記載の方法。

93. 前記エチレン系共重合体が前記モノマーを25~50重量%有する、上記91に記載の方法。

94. 前記エチレン系共重合体が前記モノマーを30~50重量%有する、上記91に記載の方法。

95. 前記エチレン系共重合体が 0.89 g/cm^3 以下の密度を有する、上記91に記載の方法。

96. 前記エチレン系共重合体が $0.89\text{ g/cm}^3 \sim 0.85\text{ g/cm}^3$ の密度を有する、上記91に記載の方法。

97. 前記エチレン系共重合体が $0.88\text{ g/cm}^3 \sim 0.85\text{ g/cm}^3$ の密度を有する、上記91に記載の方法。

98. 前記エチレン系共重合体が $0.875\text{ g/cm}^3 \sim 0.85\text{ g/cm}^3$ の密度を有する、上記91に記載の方法。

99. 前記エチレン系共重合体が、190において 100 g/10分 以下のメルトインデックスを有する、上記91に記載の方法。

100. 前記エチレン系共重合体が、190において 50 g/10分 以下のメルトインデックスを有する、上記91に記載の方法。

101. 前記エチレン系共重合体の前記-オレフィンモノマーがオクテンを含む、上記91に記載の方法。

102. 前記プロピレン系共重合体が前記モノマーを5～30重量%有する、上記91に記載の方法。
103. 前記プロピレン系共重合体が前記モノマーを5～15重量%有する、上記91に記載の方法。
104. 前記プロピレン系共重合体が、230において100g/10分以下のメルトインデックスを有する、上記91に記載の方法。
105. 前記プロピレン系共重合体が、230において50g/10分以下のメルトインデックスを有する、上記91に記載の方法。
106. 前記プロピレン系共重合体の前記 - オレフィンモノマーがエチレンを含む、上記91に記載の方法。
107. 前記ブレンドが、 0.89 g/cm^3 以下の計算密度を有する、上記91に記載の方法。
108. 前記ブレンドが、 $0.89 \text{ g/cm}^3 \sim 0.85 \text{ g/cm}^3$ の計算密度を有する、上記91に記載の方法。
109. 前記ブレンドが、 $0.88 \text{ g/cm}^3 \sim 0.85 \text{ g/cm}^3$ の計算密度を有する、上記91に記載の方法。
110. 前記ブレンドが、 $0.875 \text{ g/cm}^3 \sim 0.85 \text{ g/cm}^3$ の計算密度を有する、上記91に記載の方法。
111. 前記キャリア層が不織布を含む、上記91に記載の方法。
112. 前記キャリア層が、ポリオレフィン、エチレンと $C_3 \sim C_{18}$ オレフィンとの共重合体、ポリエステル、ポリアミド、ポリスルホン、アクリルポリマー、ポリスチレン、ポリウレタン、ポリカーボネート、ハロゲン化ポリマー、セルロース化合物、ポリアクリロニトリル、エチレン酢酸ビニル、およびエチレン/メタクリル酸のナトリウム塩または亜鉛塩に基づくアイオノマーからなる群から選択される熱可塑性フィルムを含む、上記91に記載の方法。
113. 前記ポリオレフィンがポリエチレン、ポリプロピレンまたはポリブチレンである、上記112に記載の方法。
114. 前記ポリアミドがナイロンである、上記112に記載の方法。
115. 前記アクリルポリマーが、ポリエチレンメチルアクリル酸、ポリエチレンn-ブチルアクリレート、ポリエチレンエチルアクリレートまたはポリエチレンメチルアクリレートである、上記112に記載の方法。
116. 前記ハロゲン化ポリマーがポリ塩化ビニルまたはポリ塩化ビニリデンである、上記112に記載の方法。
117. 前記キャリア層が、その伸張されていない最初の形状から25%以下伸張する、上記91に記載の方法。
118. 前記キャリア層が、その伸張されていない最初の形状から10%以下伸張する、上記91に記載の方法。
119. 前記密着フィルム積層構造体が、その伸張されていない最初の形状から25%以下伸張する、上記91に記載の方法。
120. 前記密着フィルム積層構造体が、その伸張されていない最初の形状から10%以下伸張する、上記91に記載の方法。
121. 前記キャリア層が柔軟な基材を含む、上記91に記載の方法。
122. 前記結合ステップが、前記キャリア層の前記第1の面に前記密着層を押し出すステップを含む、上記91に記載の方法。
123. 前記キャリア層が不織布材料であり、前記結合ステップが、前記密着層上に前記不織布材料をメルトブローイングまたはスパンボンディングするステップを含む、上記91に記載の方法。
124. 前記結合ステップが、前記キャリア層の前記第1の面に前記密着層を接着結合するステップを含む、上記91に記載の方法。
125. 前記結合ステップが、前記キャリア層の前記第1の面に前記密着層を熱結合する

ステップを含む、上記 9 1 に記載の方法。

1 2 6 . 前記結合ステップが、前記キャリア層の前記第 1 の面に前記密着層を超音波結合するステップを含む、上記 9 1 に記載の方法。

1 2 7 . 前記結合ステップが、前記キャリア層の前記第 1 の面に前記密着層を R F 結合するステップを含む、上記 9 1 に記載の方法。

1 2 8 . 前記結合ステップが、前記キャリア層の前記第 1 の面に前記密着層をマイクロ波結合するステップを含む、上記 9 1 に記載の方法。

1 2 9 . 前記結合ステップが、前記キャリア層の前記第 1 の面に前記密着層を加圧結合するステップを含む、上記 9 1 に記載の方法。

1 3 0 . 前記密着フィルム積層構造体を標的面に取り付けるための取付け手段を、前記キャリア層の前記第 2 の面に適用するステップをさらに含む、上記 9 1 に記載の方法。

1 3 1 . 取付け手段を適用する前記ステップが、前記キャリア層の前記第 2 の面を接着剤でコーティングするステップを含む、上記 1 3 0 に記載の方法。

1 3 2 . 前記接着剤がホットメルト接着剤である、上記 1 3 1 に記載の方法。

1 3 3 . 前記接着剤が感圧接着剤である、上記 1 3 1 に記載の方法。

1 3 4 . 前記接着剤がコールドシールである、上記 1 3 1 に記載の方法。

1 3 5 . 少なくともその一部が、流体を吸収する能力を有する材料からなる吸収性基材と

、
前記吸収性基材を使用可能な位置に固定するためのファスナシステムとを含み、前記ファスナシステムが、上記 1 に記載の密着層、上記 2 1 に記載の密着フィルム積層構造体、上記 3 5 に記載の密着フィルム積層構造体、または上記 4 8 に記載の密着フィルム積層構造体を含む固定用構成要素を有する使い捨て繊維製品。

1 3 6 . 前記ファスナシステムが使い捨ておむつの一部である、上記 1 3 5 に記載の製品。

1 3 7 . 前記使い捨ておむつが第 1 および第 2 の腰部を有し、前記固定用構成要素が、前記おむつが前記使用可能な位置に配置された場合に前記第 1 の腰部と前記第 2 の腰部とを接合する耳、タブまたはテープを含む、上記 1 3 6 に記載の製品。

1 3 8 . 前記固定用構成要素が前記腰部の少なくとも一方に結合された、上記 1 3 7 に記載の製品。

1 3 9 . 前記固定用構成要素が、前記腰部の少なくとも一方の一部として一体に形成された、上記 1 3 7 に記載の製品。

1 4 0 . 前記使い捨ておむつがさらに、前記固定用構成要素を含む着地ゾーンを含む、上記 1 3 7 に記載の製品。

1 4 1 . 前記ファスナシステムが女性用ナプキンの一部である、上記 1 3 5 に記載の製品。

1 4 2 . 前記女性用ナプキンが、前記吸収性基材から横方向外側へ反対方向に延びる一対の羽を有し、前記女性用ナプキンが前記使用可能な位置に配置された場合に前記固定用構成要素が前記羽を接合する、上記 1 4 1 に記載の製品。

1 4 3 . 前記固定用構成要素が前記羽の少なくとも一方に結合された、上記 1 4 2 に記載の製品。

1 4 4 . 前記固定用構成要素が、前記羽の少なくとも一方の一部として一体に形成された、上記 1 4 2 に記載の製品。

1 4 5 . 前記ファスナシステムが外科用ドレープの一部である、上記 1 3 5 に記載の製品。

1 4 6 . 前記ファスナシステムが病院用ガウンの一部である、上記 1 3 5 に記載の製品。

1 4 7 . 前記ファスナシステムが病院用パッドの一部である、上記 1 3 5 に記載の製品。

1 4 8 . 前記吸収性基材が不織布材料を含む、上記 1 3 5 に記載の製品。

1 4 9 . 少なくともその一部が、流体を吸収する能力を有する材料からなる吸収性基材と

、
前記吸収性基材を使用可能な位置に固定するための主要ファスナシステムと、

前記主要ファスナシステムを支援するための補助ファスナシステムと

を含み、前記補助ファスナシステムが外側密着面を有する密着層を含み、前記密着層がポリオレフィン共重合体を含み、前記ポリオレフィン共重合体が、エチレンと C_3 から C_{18} のオレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたエチレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも20重量%有する共重合体、プロピレンと C_2 から C_{18} のオレフィンモノマーとのメタロセンまたはシングルサイト触媒を用いて得られたプロピレン系共重合体であって、前記モノマーを少なくとも5重量%有する共重合体、前記エチレン系共重合体のブレンド、前記プロピレン系共重合体のブレンド、または1種もしくは複数の前記エチレン系共重合体と1種もしくは複数の前記プロピレン系共重合体のブレンドとからなる群から選択される使い捨て繊維製品。

150. 前記主要ファスナシステムおよび前記補助ファスナシステムがともに使い捨ておむつの一部である、上記149に記載の製品。

151. 前記使い捨ておむつが第1および第2の腰部を有し、前記密着層が、前記第1の腰部の内面および前記第2の腰部の外面に配置されていて、前記おむつが前記使用可能な位置に配置された場合に前記第1の腰部と前記第2の腰部分とを接合するサイドシームを形成する、上記150に記載の製品。

152. 前記主要ファスナシステムが機械式ファスナである、上記150に記載の製品。

153. 前記主要ファスナシステムが感圧テープである、上記150に記載の製品。

154. 前記主要ファスナシステムが、上記1に記載の密着層、上記21に記載の密着フィルム積層構造体、上記35に記載の密着フィルム積層構造体、または上記48に記載の密着フィルム積層構造体を含む、上記150に記載の製品。

155. 前記主要ファスナシステムおよび前記補助ファスナシステムがともに女性用ナプキンの一部である、上記149に記載の製品。

156. 前記主要ファスナシステムおよび前記補助ファスナシステムがともに外科用ドレープの一部である、上記149に記載の製品。

157. 前記主要ファスナシステムおよび前記補助ファスナシステムがともに病院用ガウンの一部である、上記149に記載の製品。

158. 前記主要ファスナシステムおよび前記補助ファスナシステムがともに病院用パッドの一部である、上記149に記載の製品。

159. 前記吸収性基材が不織布材料を含む、上記149に記載の製品。

160. 基材と、

前記基材を閉位置に固定してその中に物品を包装するためのファスナシステムとを含み、前記ファスナシステムが、上記1に記載の密着層、上記21に記載の密着フィルム積層構造体、上記35に記載の密着フィルム積層構造体、または上記48に記載の密着フィルム積層構造体を含む固定用構成要素を有する、物品を包装するための容器。

161. 前記ファスナシステムが箱の一部である、上記160に記載の容器。

162. 前記ファスナシステムが封筒の一部である、上記160に記載の容器。

163. 前記ファスナシステムが軟包装材料の一部である、上記160に記載の容器。

164. 前記ファスナシステムがブリスター包装の一部である、上記160に記載の容器。

165. 前記基材が柔軟な材料である、上記160に記載の容器。

166. 前記基材が柔軟でない材料である、上記160に記載の容器。

167. 前記物品が食品を含む、上記160に記載の容器。

168. 前記食品がスナック食品を含む、上記167に記載の容器。

169. 前記物品が医療装置を含む、上記160に記載の容器。